

2020年度

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

地 理

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A（マークシート）と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A（マークシート）の受験番号欄をマークすること。
  2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
  3. 解答用紙 A（マークシート）への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
  4. 解答用紙 A（マークシート）の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。  
(解答例) 

(12)
------

 と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 

(12)
------

 の ③ にマークすること。  
なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。  
例えば、空欄 

(19)
------

(20)
------

 の解答が 36 の場合、解答欄 

(19)
------

 の ③ にマークし、解答欄 

(20)
------

 の ⑥ にマークする。
  5. 解答用紙 A（マークシート）への解答で、同じ語句が複数回使われる場合がある。
  6. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
  7. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

①  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

望ましい国際貿易政策について、伝統的に二つの考え方がある。一つは、<sup>(ア)</sup>それぞれの国が得意とする商品の生産に特化し、他国と自由に交換することが最も望ましく、政府は国際貿易に介入すべきではないとする考え方で、自由貿易主義と呼ばれる。もう一つは、国によって経済の発展段階に差があるので、発展途上国は、先進国と競争できるようになるまで輸入制限を行うなど、政府による介入がある程度正当化されるとする考え方、保護貿易主義と呼ばれる。

保護貿易が世界大戦の一因となったという反省から、第二次世界大戦後は、自由貿易に向けた制度づくりが続けられてきた。1948年には自由・無差別・多角的貿易体制を原則とする   が発足し、1995年には常設機関である   が設立された。しかし、各国の主張が対立したため、自由化への歩みは遅々としたものにならざるを得なかった。しかも、  に至っても、緊急輸入制限やアンチ・ダンピングが認められており、保護貿易主義的な要素を完全には排除できていない。

こうした中、複数の国がグループを形成し、域内で積極的に自由貿易を推進しようという動きが広がった。これを経済統合という。1952年に発足した   はその先駆けで、欧州で再び戦火を交えることが無いよう、経済統合を推進すべきであるという考え方に基づいている。1993年には、  の発効に伴って<sup>(イ)</sup>EUが発足した。2009年には   が発効し、EUの権限が強化された。

経済統合の動きは、欧州以外にも広がっていった。北米では、1994年にアメリカ合衆国、メキシコ、カナダの間で   が設立された。日本を含む12か国が推進してきた   は、2017年に米国が離脱した後も協議が重ねられ、2018年に11か国による協定が発効した。南アメリカでは、1995年に<sup>(ウ)</sup>MERCOSURが発足した。東南アジアでは、第二次世界大戦後に結成された<sup>(エ)</sup>ASEANの1992年の首脳会議で、  の設立が合意されたほか、<sup>(オ)</sup>さまざまな経済協力をとおして経済発展が実現した。

経済統合の内容は地域によって異なる。<sup>(カ)</sup>FTAが貿易の自由化を主な目的とするものであるのに対し、EPAは、FTAよりも幅広い分野についての連携を目指すもので、締結の動きが活発化している。

問1 文中の空欄   ～   にあてはまる最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |               |          |              |           |
|---------------|----------|--------------|-----------|
| 11 AFTA       | 12 AU    | 13 BRICS     | 14 EC     |
| 15 ECSC       | 16 EEC   | 17 EFTA      | 18 FAO    |
| 19 GATT       | 20 IMF   | 21 NAFTA     | 22 ODA    |
| 23 OECD       | 24 OPEC  | 25 TPP       | 26 WTO    |
| 27 ウルグアイ・ラウンド | 28 京都議定書 | 29 マーストリヒト条約 | 30 リスボン条約 |

問2 下線部(ア)について、下の表は2018年の日本の各国・地域からの総輸入額に占める主要品目の割合(%)を示している。表中の(17)～(20)に該当する最も適切な国・地域の名称を下の国・地域群から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

国・地域	日本の各国・地域からの総輸入額に占める主要品目の割合
(17)	電気機器29% 衣類・同付属品10% 電算機類(含周辺機器) 8% 食料品5% 金属製品3%
(18)	医薬品17% 自動車12% 食料品・飲料・たばこ11% 有機化合物5% 精密機器類4%
(19)	電気機器21% 液化天然ガス9% 衣類・同付属品8% 木製品・コルク製品5% 非鉄金属鉱3%
(20)	石油・同製品33% 液化天然ガス21% 石炭15% 非鉄金属15% 魚介類8%

(財務省貿易統計・国別概況品別表より作成)

- 《国・地域》 1 ASEAN                      2 EU                      3 アメリカ合衆国  
 4 中華人民共和国                      5 中東(注)                      6 ロシア

(注) イラン、イラク、バーレーン、サウジアラビア、クウェート、カタール、オマーン、イスラエル、ヨルダン、シリア、レバノン、アラブ首長国連邦、イエメン、ヨルダン川西岸およびガザを含む地域

問3 下線部(イ)、(ウ)、(エ)について、2019年3月末時点でそれぞれの経済統合に属さない国を下の表の中から選び、その番号を解答用紙A(マークシート)の所定の解答欄にマークしなさい。

(イ)の解答は(21)，(ウ)の解答は(22)，(エ)の解答は(23)にマークしなさい。

経済統合	国名				
(イ)	1 アイルランド	2 ギリシャ	3 デンマーク	4 ノルウェー	5 ポルトガル
(ウ)	1 アルゼンチン	2 ウルグアイ	3 チリ	4 パラグアイ	5 ブラジル
(エ)	1 インド	2 シンガポール	3 タイ	4 フィリピン	5 マレーシア

問4 下線部(オ)について、以下の文章の空欄(あ)～(え)にあてはまる最も適切な語句を、(あ)と(い)はそれぞれ漢字2字、(う)は漢字4字、(え)は漢字3字で答えなさい。解答は解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

従来の国際分業は、複数の先進国が完成品を製造して相互に輸出する(あ)分業と、発展途上国が原材料を先進国に輸出して先進国が完成品を製造する(い)分業という二つの形態が主流であった。後者の分業は、第二次世界大戦前の植民地と宗主国という関係を引きずったものが多く、発展途上国と先進国の経済格差が解消されないという(う)の克服が戦後の課題となった。東南アジア諸国は1980年代後半になって工業化に成功したが、とくに近年は、同一産業内や同一企業内で多様な部品が生産・輸出される新しい形の(あ)貿易が行われている。このように発展途上国で工業化が進む一方、国際競争力が相対的に低下した先進国では、産業の(え)が問題となっている。

問5 下線部(カ)について、サービス貿易の自由化や輸入数量制限の撤廃と並んで、多くのFTAに共通する最も基本的な施策を15字以内で答えなさい。解答は解答用紙Bの所定の欄に書きなさい。

## II. 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

第二次世界大戦後に急増した世界人口は、21世紀にも増加を続けている。2015年時点でアジアに約(24) (25) 億人、アフリカには約12億人の人々が暮らしており、2050年の世界人口は約98億人に達すると予測されている。世界人口を扶養するうえで重要な農産物は、米、小麦、(26) (27)、大豆である。とくに、巨大な人口を抱えるインドや中国がこれらの農産物を自給できるかが問題となる。インドは、1960年代後半の(ア)「緑の革命」により、1977年以降、食料をほぼ自給している。中国は、2000年代以降、(28) (29) を用いた生産性の急速な向上により、米、小麦、(26) (27) をほぼ自給している。このうち、飼料としても使われる(26) (27) の国内生産は、経済発展による(30) (31) の消費増加に伴い著しく伸びているのに対して、同じ飼料作物の大豆は、国内生産が需要に追いつかず、アメリカ大陸から輸入している。

世界全体での農畜産物の生産では、アメリカ合衆国(以下、アメリカという)の役割が大きい。伝統的にアメリカの農業は(イ)西ヨーロッパから導入された混合農業に(26) (27) の生産を組み合わせたものであった。これを基礎に現代では、合理的な経営のもと、広大な農地で大型機械や多量の(28) (29) ・除草剤・殺虫剤を使用したり、最新の遺伝子組み換え技術を駆使したりして、多様な農産物が大規模に生産されている。こうした生産方法により(32) (33) 生産性の高い(34) (35) 的農業が実現している。小麦・(26) (27) ・大豆は、年降水量が(36) (37) mm以上の西経100度以東の地域で肥沃なプレーリー土を活用して生産されている。一方、西経100度以西の地域では放牧が盛んである。冬小麦地帯では、アルゼンチンや(38) (39) と同様に(40) (41) で肉牛の肥育を行う(34) (35) 的牧畜が見られる。

世界各国の農家が生産した穀物は、(ウ)アメリカに本拠地をもつ多国籍企業を介して、世界の消費地にとどけられる。これらの企業は基本的には国際的な(42) (43) を担う商社であるため、穀物取引それ自体からの利益率は低い。そこで、利益率を高めるため多角的な経営を行い、(28) (29) の生産、種子の開発・販売、農産物の加工・販売から農業機械の製造、(30) (31) の生産・流通・加工まで、(44) (45) において重要な役割を担っている。さらに、集荷、保管、運搬のために(46) (47) と呼ばれる巨大倉庫や鉄道・船舶などを保有するほか、(48) (49) により各国の作柄調査を行うなど国際的な情報網を確立している。こうした背景のもと、これらの多国籍企業は(50) (51) に設けられている商品取引所の穀物相場に大きな影響を与えている。

他方、アフリカでは、植民地時代から(52) (53) の栽培を重視してきたため、食料自給率が低い。主食用穀物の生産は小規模で、農業機械の導入も遅れている。また、アフリカの土地は肥沃度が低いにもかかわらず、(28) (29) は多くの農地で使用されていない。人口増加が見込まれるアフリカ大陸での食料需要の急増は世界的な食料不足につながる可能性もあり、(エ)アフリカでの食料自給体制の確立は、国際社会にとって重要な課題である。

問1 文中の空欄 (24) (25) ～ (52) (53) にあてはまる最も適切な語句を下の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 44	12 56	13 73	14 500
15 1000	16 アグリビジネス	17 イギリス	18 イモ
19 エレベーター	20 オーストラリア	21 化学肥料	22 企業
23 キャッサバ	24 根菜	25 コンテナ	26 三圃式
27 シカゴ	28 自給作物	29 商品作物	30 白い革命
31 人工衛星	32 水牛	33 スマートアグリ	34 センターピボット
35 トウモロコシ	36 土壌	37 肉類	38 二圃式
39 ニューヨーク	40 皮革製品	41 フィードロット	42 豚
43 水	44 ミルク	45 流通	46 労働

問2 下線部 (ア) について、以下の文章の空欄 (54) (55) ～ (58) (59) にあてはまる最も適切な語句を問1の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

穀物生産の増加により飼料の供給が増え、「緑の革命」の恩恵を受けられなかった土地をもたない農民でも、飼育できる牛や (54) (55) の頭数が増え、(56) (57) の生産が大きく増加した。これは「(58) (59)」と呼ばれ、農民の所得向上と消費者の栄養状態の改善をもたらした。

問3 下線部 (イ) について、西ヨーロッパで混合農業が発達した理由を説明した以下の文章の空欄 (60) (61) および (62) (63) にあてはまる最も適切な語句を問1の語群から選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

産業革命による都市の食料需要の増加と新大陸からの安い穀物の輸入を契機として、より効率的に土地を利用するために、中世以来行われてきた (60) (61) 農業の休閑地で (62) (63) 類や牧草を栽培し、家畜飼育も行うようになった。

問4 下線部 (ウ) について、以下の文章の空欄 (あ) にあてはまる最も適切な国名および (い) にあてはまる最も適切な語句を、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

1970年代後半からブラジル高原のセラードでは (あ) からのODAを活用した大規模な土壌改良や灌漑が行われ、大豆の世界的産地が形成された。その後、「穀物 (い)」と呼ばれる多国籍企業が、ブラジルでの大豆の生産・加工・輸出にも大きく関与するようになった。

問5 下線部 (エ) について、アフリカでは都市部の所得の向上が農村での農業生産性の改善につながりにくい理由を、食料輸入という語句を用いて25字以内で答えなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

第二次世界大戦以前、植民地支配を受けていた多くの東南アジア諸国は、特定の農産物や鉱産物の輸出に依存するモノカルチャー経済を強いられていた。戦後、これらの国々は独立を遂げたが、生活の向上を図るためには、(ア)モノカルチャー経済から脱却し、工業化を推進する必要があった。そのため、1970年代から各地に (64) (65) を整備し、安価な人件費を武器に外国企業を誘致した。加えて、世界市場に向けた工業生産をするうえで税制優遇措置を付与した (66) (67) を設けるなど、(68) (69) の工業化を目指してきた。その結果、日本を含む先進国からの企業進出や高度な技術の移転が行われた。

東南アジア諸国は域内の連携を深めるため、いわゆるバンコク宣言に基づき (70) (71) 年にASEANを結成した。当初の加盟国5か国に、(72) (73) 年にイギリスから独立したブルネイが加わり、冷戦終結後にさらに数か国が加盟した。その後、(74) (75) 年に加わったカンボジアを最後に現在に至っている。

工業化によって都市部の生活は豊かになる一方で、(イ)多くの人が農村部から都市部に流入し、特に首都圏への人口集中を招いた。それは、交通渋滞や大気汚染といった深刻な問題を引き起こした。また、住宅や工場などが郊外に無秩序に拡大する (76) (77) 現象を生じさせている。都市部での急速な人口増加は、居住環境の悪化を引き起こし、河川敷や鉄道線路沿いなどにスラムが形成された。スラム居住者は、都市部に移住してきたものの安定した職業に就ける者はわずかで、多くの人は (78) (79) で働き生計を立てている。(ウ)こうした都市問題を解決するためには、多大な費用と時間を要する場合が多い。

以下、東南アジア諸国に属するいくつかの国を概観してみよう。

(a) は、イギリスとフランスの緩衝国とされ列強の植民地化を免れた国である。(80) (81) 年からのアジア通貨危機は、(a)の通貨パーツの切下げを契機としている。(a)の工業化は衣料品などの軽工業から始まったが、現在では (82) (83) 産業の育成に注力し、世界の有力メーカーが進出している。(a)の首都は、政治・経済の中心であり、他の都市の人口規模を大きく上回る (84) (85) である。

多民族国家である(b)では、(86) (87) が多数を占めるものの、中国系住民(華人)が経済の実権を握っている。そのため、(86) (87) を優遇する (88) (89) 政策によって経済格差の是正を図ってきた。1980年代には日本や (90) (91) の経済的成功をモデルに工業化を目指す (92) (93) 政策を打ち出している。

1945年、(94) (95) から独立した(c)は、10年に及ぶ戦争を含め、度重なる紛争を経験してきたが、南北に分裂していた国家は、(96) (97) 年ようやく統一された。そのため工業化は比較的遅れていたが、1986年以降、閉鎖的な統制経済から (98) (99) 政策を採用し、(100) (101) 体制を維持しつつ市場経済化と対外開放を推進した結果、工業化が進展した。この政策は、農業にも影響を及ぼし、集団農業からの脱却によって農業の生産性が高まり、米や (102) (103) の輸出などが大幅に増加した。

問1 文中の空欄 (64) (65) ～ (102) (103) にあてはまる最も適切な語句を下の語群より  
 選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- |           |              |                |             |
|-----------|--------------|----------------|-------------|
| 11 1965   | 12 1967      | 13 1975        | 14 1976     |
| 15 1981   | 16 1984      | 17 1993        | 18 1997     |
| 19 1999   | 20 2008      | 21 油ヤシ         | 22 アメリカ合衆国  |
| 23 インド系住民 | 24 インナーシティ   | 25 インフォーマルセクター |             |
| 26 オランダ   | 27 経済特区      | 28 工業団地        | 29 コーヒー豆    |
| 30 自動車    | 31 資本主義      | 32 社会主義        | 33 スプロール    |
| 34 スペイン   | 35 繊維        | 36 大韓民国        | 37 中華人民共和国  |
| 38 中心業務地区 | 39 ドイモイ (刷新) | 40 バナナ         | 41 非居住地域    |
| 42 ブミプトラ  | 43 プライメートシティ | 44 フランス        | 45 プランテーション |
| 46 ポルトガル  | 47 マレー系住民    | 48 メトロポリス      | 49 輸出加工区    |
| 50 輸出指向型  | 51 輸入代替型     | 52 ルックイースト     |             |

問2 下線部 (ア) について、東南アジア諸国がモノカルチャー経済から脱却を図った理由を述べた以下の文章の空欄にあてはまる最も適切な語句を漢字4字で答えなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

輸出品である特定の農産物や鉱産物の生産量や ( ) が低水準にとどまったり大きく変動したりすると、当該国の経済が悪化したり不安定となるため。

問3 下線部 (イ) について、以下の (1)、(2) の問いに答えなさい。

(1) 農村部から都市部に人口が流入した理由に関して、以下の文章の空欄にあてはまる最も適切な語句を漢字5字で答えなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

農村部では農業生産性の向上などから ( ) が発生し、雇用機会や利便性の高い生活を求めて都市部に移動したため。

(2) 農村部からの人口流入という理由の他に、特に首都圏に人口が集中する理由を25字以内で述べなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

問4 下線部 (ウ) について、都市問題の解決に関して述べた以下の文章の空欄にあてはまる最も適切な語句を漢字4字で答えなさい。解答は解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

都市問題を解決するため、社会基盤の整備や低所得者向けの住宅提供が進められているが、発展途上国では、( ) の累積などにより十分な対策が進まないため、先進国の国際協力やNGOなどの人的支援に頼らざるを得ない状況にある。

問5 2018年現在、(a)～(c)の人口と名目GDP(国内総生産)を大きい順に左から並べ、解答用紙 B の所定の欄に書きなさい。

## 《以下余白》